

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
起業家教育Ⅱ Entrepreneur EducationⅡ		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
起業家教育Ⅰ、経営学Ⅰ・Ⅱ、ビジネス実務総論、ビジネス実務演習Ⅰ、マーケティング				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
経営学Ⅱ、ビジネス実務総論、ビジネス実務演習Ⅱ、マーケティング				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
長江 庸泰	本館2F (研究室1)	月～木曜 9:00～16:00 (授業・会議時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
授業の内容からして起業家教育Ⅰを履修していることが望ましい。起業家教育Ⅰで開発した商品を秋の文化祭(みかも祭)で販売し、その成果の分析が中心となる。その際、決算書の作成や利益の分配といった係数による振り返りが中心となる。その後、起業に関するDVDの鑑賞などをおして起業の理解を深める。				
授業の目標				
①現代社会における起業家精神や起業家能力の必要性を説明できるようにする。 ②販売活動での顧客勧誘の困難性を理解した上で、顧客獲得のための具体的な行動がとれるようにする。 ③起業活動の総括として現金収支計算表や損益計算書を作成し分析できるようにする。				
授業の方法				
本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等のアクティブラーニングを活用しながら、起業に精通した人材育成を目指すものである。				
学習の成果(学習成果)				
起業活動の一連の手続きの理解と販売活動の実習をとうして起業人としての自覚のもとに、チャレンジ精神、コミュニケーション能力、問題解決力が修得できる。また、簿記会計の知識を駆使して販売活動の内容とその成果を係数的に分析できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ビジネスプランの確認			
第2回目	試作品の作成			
第3回目	仕入れ先の決定と販売価格の決定、PR活動			
第4回目	商品の仕入れと販売戦略の策定/(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)			
第5回目	開店準備と店舗の設営(オフィスレイアウト)			
第6回目	みかも祭での販売活動①(商品の製造、商品の陳列、商品の販売)			

第7回目	みかも祭での販売活動②（前日活動の反省を踏まえた販売活動）	
第8回目	店舗の撤収と残務整理/(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)	
第9回目	現金収支の計算と管理	
第10回目	決算書の作成①(収支計算書)	
第11回目	決算書の作成②（貸借対照表、損益計算書）	
第12回目	決算書に基づく経営活動の分析評価と総括的振り返り	
第13回目	利益処分(学友会からの助成金の清算、立替金の清算、)	
第14回目	企業の社会的貢献(利益の一部を社会福祉事業の寄付する)/(グループワークによるプレゼンとディスカッション③)	
第15回目	まとめ（起業家教育Ⅰ・Ⅱを振り返りその課題や問題点をレポートに纏め、グループ内で討論する）	
事前・事後学習	事前学習(シラバスの学習ポイントを自分で調べ、質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを見直しながら、1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜き、3)自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	10%	以下の3点から評価する：①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S評価の基準：上記参加態度を全て満たすもの。
レポート	30%	Sのレポートの評価：①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。
調査報告書		
小テスト	40%	グループワークによるプレゼンテーション力のS評価：①内容が創意工夫した発表となっている、②グループの意見が論理的に述べられている、③グループで協働し、積極的に質疑応答に臨んでいる。
試験		
発表内容（態度含む）	20%	Sのレポート発表評価：①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。
その他		上記評価基準に基づき成績評価：S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59
教科書と参考図書		
長江庸泰作成の“デジタルテキスト[起業家教育Ⅱ2018年度版]”を活用する。		
履修上の留意点・ルール		
本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けましょう。		